

国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

(平成22年11月3日調査)

ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○
で囲んでください。お答えになった内容については統計以外の目的には使用
しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号									
地区番号			単位区番号		世帯番号				
出生年月									
昭和				年				月生	

問1 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 ～ 平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1 仕事についている

2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である

3 仕事についていない

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

→ 問3へお進みください

→ 3頁の問7へお進みください

問3 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている → 次頁の問4から補問4-4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください

2 ひとつの仕事にのみについている

問4 現在ついている仕事は1年前（平成21年11月1日）についていた仕事と同じですか。なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でもアルバイトやパートの方が正規の職員・従業員に変わるなど、形態が変わった場合は「2 違う」とお答えください。

- 1 同じ -----> 問5へお進みください
2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問4-1 現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（問6まで同様です。）

- 1 会社などの役員・自営業主
2 自家営業の手伝い
3 自宅での賃仕事（内職）
4 正規の職員・従業員
5 アルバイト
6 パート
7 労働者派遣事業所の派遣社員
8 契約社員・嘱託
9 その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

雇用保険（失業保険）に加入していますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 している
2 していない
3 わからない

補問4-2 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| 1 1～4人 | 4 100～299人 | 7 1000～4999人 |
| 2 5～29人 | 5 300～499人 | 8 5000人以上 |
| 3 30～99人 | 6 500～999人 | 9 官公庁 |

補問4-3 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------|----------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 | 5 サービスの仕事 | 9 生産工程・労務作業の仕事 |
| 2 管理的な仕事 | 6 保安の仕事 | 10 その他の仕事 |
| 3 事務の仕事 | 7 農林漁業の仕事 | |
| 4 販売の仕事 | 8 運輸・通信の仕事 | |

補問4-4 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

- 1 平成21年 月
2 平成22年 月

問5 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分		

注：1) 就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

(記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。)

2) 通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問6 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----> 問7へお進みください
2 仕事が主である	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします
3 通っていない	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問7 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。)

1 思っている	-----> 補問7-1へお進みください
2 思っていない	-----> 1年前からずっと仕事についていない方は 6 頁の 問12へお進みください
	-----> この1年間に仕事をやめた経験がある方は 次頁の 問8へお進みください

補問7-1 どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事（内職）	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この1年間（平成21年11月1日以降）に仕事をやめたことがある方

問8 この1年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）									
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	
1年前（平成21年11月1日）についていた仕事		平成 年 月										
平成21年11月1日以降に新たについた仕事	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

補問8-1 1年前（平成21年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

1 自分の希望する仕事ではなかったから	14 健康がすぐれなかったから
2 能力・実績が正當に評価されなかったから	15 家族の介護のため
3 給与・報酬が少なかったから	16 家族が転勤したから
4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから	17 育児休業がとりにくかったから
5 独立・起業のため	18 会社から出向・転籍を命ぜられたから
6 通勤時間が長かったから	19 希望退職に応じたから
7 転勤が多かったから	20 倒産したから
8 一時的・不安定な仕事だったから	21 解雇されたから
9 人間関係がうまくいかなかったから	22 契約期間が満了したから
10 会社の経営方針に不満を感じたから	23 初めから短期のつもりだったから
11 事業又は会社の将来に不安を感じたから	24 新しい仕事がみつかったから
12 結婚のため	25 勉強のため
13 出産・育児のため	26 その他（ ）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、仕事についている方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問9 あなたは今後出産する場合に、出産した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「4 今後の出産は考えていない」に○をつけてください。）

- 1 出産した後も続ける 2 出産を機にやめる 3 続けるかどうか考えていない 4 今後の出産は考えていない

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問10 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働(残業)の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方

問11 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成21年11月～平成22年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成21年11月～平成22年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成21年7月から平成22年6月までの場合、平成21年7月～平成22年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、この頁の問10の(3)と同様です。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問12 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の出来事がありましたか。

あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した→平成 年 月	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高专</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 中学校	4 短大・高专	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高专	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
2 中退した→平成 年 月	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高专</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 中学校	4 短大・高专	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高专	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
3 入学した→平成 年 月	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高专</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 中学校	4 短大・高专	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高专	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
4 上記1～3のようなことはなかった										

問13 あなたには、現在、配偶者はいますか。

なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の質問についても同様です。）

1 いる	→ 現在、配偶者と同居していますか。		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 同居している</td> </tr> <tr> <td>2 同居していない</td> </tr> </tbody> </table>		1 同居している	2 同居していない
1 同居している			
2 同居していない			
2 いない			

問14 この1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	配偶者の生年月 1 昭和 年 月生 2 平成 年 月生 同居を開始した年月 平成 年 月
2 離婚した	
3 配偶者と死別した	
4 上記1～3のようなことはなかった	

補問14-1 現在、妊娠していますか。

1 している	2 していない・わからない
--------	---------------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配偶者と同居している方

問15 あなたの配偶者はふだん家事、育児・子どもの世話を行っていますか。

1 している 2 していない → 問17へお進みください

補問15-1 家事、育児・子どもの世話をしてくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に助かる 2 少しは助かる 3 あまり軽減とならない 4 軽減とならない

問17へお進みください

配偶者がいない方

問16 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい
2 なるべくしたい
3 どちらとも言えない
4 あまりしたくない
5 絶対したくない

→ 問17へお進みください

→ 次頁の問18へお進みください

配偶者がいる方、配偶者がいない方で問16で1～4とお答えの方

問17 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として 責任をもつ家庭	妻が主として 責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に 責任をもつ家庭	わからない
(1)世帯の収入	1	2	3	4
(2)家事	1	2	3	4
(3)育児	1	2	3	4

引き続き次頁以降の項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問18 あなたは、お子さんをおもちであること（またはもつこと）に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる | 10 仕事が十分にできなくなる |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 3 仕事に張り合いが生まれる | 12 社会から取り残されたような気になる |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 13 子どもにどのように接すればよいかわからない |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 14 子どもの非行が心配 |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる | 15 子どもの教育・進学が心配 |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい | 16 子どもの就職・仕事が心配 |
| 8 子育て・教育で出費がかさむ | 17 その他（ ） |
| 9 自分の自由な時間がもてなくなる | 18 感じていることは特にない |

問19 子どもが（すでにいらっしゃる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|--|
| 1 絶対欲しい | 全部で何人欲しいですか。
（すでにいらっしゃるお子さんも含めてください。）
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block; vertical-align: middle;"></div> 人 |
| 2 欲しい | |
| 3 どちらとも言えない | |
| 4 あまり欲しくない | |
| 5 絶対欲しくない | |

問20 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

問21 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
--	--------------

問22 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、（1）、（2）のみお答えください。）

（1）あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
（2）あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
（3）配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
（4）配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問23 この1年間（平成21年11月～平成22年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

1 した	2 していない
------	---------

補問23-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※量2量分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは 含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

問24 お子さんはいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

次頁の問26へお進みください

補問24-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	（同居している小学生の お子さんについて） 現在の放課後児童（学童）クラブ の利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問24-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 認可保育所（園） | 5 ファミリー・サポート・センター |
| 2 事業所内託児施設 | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 8 利用していない |

補問24-3 小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

中学生以下のお子さん*がいらっしゃる方のみお答えください
※15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるお子さんをいいます

問25 あなた、または、あなたの配偶者は子ども手当を受給していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受給している | 2 受給していない |
|----------|-----------|

補問25-1 子ども手当を受給して、あなたはどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に役にたつ | 4 あまり役にたたない |
| 2 役にたつ | 5 役にたたない |
| 3 どちらともいえない | |

すべての方（最後まで）

問26 現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスがありますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 認可保育所（園） |
| 2 事業所内託児施設（注） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）、ファミリー・サポート・センター |
| 5 幼稚園（預かり保育を含む） |
| 6 保育サービスはない |
| 7 わからない |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問27 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の、平成21年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。配偶者が別居している場合には、「(1) あなたの所得」のみお答えください。

平成21年1年間の所得	
(1) あなたの所得	1 あり 金額 万円 2 なし
(2) 配偶者の所得	1 あり 金額 万円 2 なし

児童手当の受給

1 あり

2 なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年2回）
その他の所得（不動産所得、児童手当等）
年間10万円
の場合

$20万 \times 12か月 + 40万 \times 2回 + 10万$
＝330万円 となります。

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3) その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まず。

問28 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が、平成22年10月の1か月間に支出した額を記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成22年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 [小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用]	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 [幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用]	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。
2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室成年者調査係 電話：(03)5253-1111(内線7592) (03)3595-2322(ダイヤルイン) (平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15) Eメール a-cohort@mhlw.go.jp
--

国民の生活に関する継続調査

〔男性票〕

(平成22年11月3日調査)

ひと、くらし、
みらいのために
厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○
で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用
しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号									
地区番号			単位区番号		世帯番号				
出生年月									
昭和				年				月生	

問1 あなたはこの1年間(平成21年11月～平成22年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 ～ 平成 年 月

- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含みます。

- 1 仕事についている -----> 問3へお進みください
- 2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である -----> 問3へお進みください
- 3 仕事についていない
 - 1 家事に従事している -----> 3頁の問7へお進みください
 - 2 通学している -----> 3頁の問7へお進みください
 - 3 その他 -----> 3頁の問7へお進みください

問3 現在、複数の仕事(休業中の仕事も含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 複数の仕事についている -----> 次頁の問4から補問4-4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください
- 2 ひとつの仕事にのみについている

問4 現在ついている仕事は1年前（平成21年11月1日）についていた仕事と同じですか。なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でもアルバイトやパートの方が正規の職員・従業員に変わるなど、形態が変わった場合は「2 違う」とお答えください。

- 1 同じ -----▶ 問5へお進みください
 ----- 2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問4-1 現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（問6まで同様です。）

- 1 会社などの役員・自営業主
 2 自家営業の手伝い
 3 自宅での賃仕事（内職）
 4 正規の職員・従業員
 5 アルバイト
 6 パート
 7 労働者派遣事業所の派遣社員
 8 契約社員・嘱託
 9 その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

雇用保険（失業保険）に加入していますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 している
 2 していない
 3 わからない

補問4-2 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| 1 1～4人 | 4 100～299人 | 7 1000～4999人 |
| 2 5～29人 | 5 300～499人 | 8 5000人以上 |
| 3 30～99人 | 6 500～999人 | 9 官公庁 |

補問4-3 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------|----------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 | 5 サービスの仕事 | 9 生産工程・労務作業の仕事 |
| 2 管理的な仕事 | 6 保安の仕事 | 10 その他の仕事 |
| 3 事務の仕事 | 7 農林漁業の仕事 | |
| 4 販売の仕事 | 8 運輸・通信の仕事 | |

補問4-4 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

- 1 平成21年 月
 2 平成22年 月

問5 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1週間の勤務日数	通常	□	日	平均的な1週間の就業時間	□ □ □	時間
1日の片道の平均通勤時間		□	時間	□ □		分

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問6 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----> 問7へお進みください
2 仕事が主である	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします
3 通っていない	

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問7 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。）

1 思っている	-----> 補問7-1へお進みください
2 思っていない	-----> 1年前からずっと仕事についていない方は 6頁の 問11へお進みください
	-----> この1年間に仕事をやめた経験がある方は 次頁の 問8へお進みください

補問7-1 どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事（内職）	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この1年間（平成21年11月1日以降）に仕事をやめたことがある方

問8 この1年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）									
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	
1年前（平成21年11月1日）についていた仕事		平成 年 月										
平成21年11月1日以降に新たについた仕事	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

補問8-1 1年前（平成21年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 自分の希望する仕事ではなかったから | 14 健康がすぐれなかったから |
| 2 能力・実績が正当に評価されなかったから | 15 家族の介護のため |
| 3 給与・報酬が少なかったから | 16 家族が転勤したから |
| 4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから |
| 5 独立・起業のため | 18 会社から出向・転籍を命ぜられたから |
| 6 通勤時間が長かったから | 19 希望退職に応じたから |
| 7 転勤が多かったから | 20 倒産したから |
| 8 一時的・不安定な仕事だったから | 21 解雇されたから |
| 9 人間関係がうまくいかなかったから | 22 契約期間が満了したから |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから | 23 初めから短期のつもりだったから |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから | 24 新しい仕事が見つかったから |
| 12 結婚のため | 25 勉強のため |
| 13 出産・育児のため | 26 その他（ ） |

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問9 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働(残業)の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方

問10 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成21年11月～平成22年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	▶ 平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が 平成21年11月～平成22年10月にかかる場合に、 実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成21年7月から平成22年6月 までの場合、平成21年7月～平成22年6月となり ます。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、この頁の問9の(3)と同様です。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問11 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の出来事がありましたか。
あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した→平成		年		月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
						2 高校	5 大学	
						3 専門学校	6 大学院	
2 中退した→平成		年		月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
						2 高校	5 大学	
						3 専門学校	6 大学院	
3 入学した→平成		年		月	→	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
						2 高校	5 大学	
						3 専門学校	6 大学院	
4 上記1～3のようなことはなかった								

問12 あなたには、現在、配偶者はいますか。

なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の質問についても同様です。）

1 いる	→ 現在、配偶者と同居していますか。
1 同居している 2 同居していない	
2 いない	

問13 この1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	→	配偶者の生年月	1 昭和		年		月生
2 離婚した			2 平成		年		
3 配偶者と死別した		同居を開始した年月	平成		年		月
4 上記1～3のようなことはなかった							

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配偶者がいない方

問14 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 絶対したい | -----▶ 問15へお進みください |
| 2 なるべくしたい | |
| 3 どちらとも言えない | |
| 4 あまりしたくない | |
| 5 絶対したくない | -----▶ 問17へお進みください |

配偶者がいる方、配偶者がいない方で問14で1～4とお答えの方

問15 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として 責任をもつ家庭	妻が主として 責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に 責任をもつ家庭	わからない
(1)世帯の収入	1	2	3	4
(2)家事	1	2	3	4
(3)育児	1	2	3	4

配偶者がいる方で、現在、配偶者が仕事についている方 (休業中、アルバイト・パート等も含む)

問16 あなたの配偶者が、今後出産する場合に、出産した後も配偶者が現在の仕事を続けることを希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(今後の出産を考えていない方は、「5. 今後の配偶者の出産は考えていない」に○をつけてください。)

- | | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|---------|------------------------|
| 1 出産した後も
続けてほしい | 2 出産を機に
やめてほしい | 3 配偶者の意向を
尊重したい | 4 わからない | 5 今後の配偶者の出産は
考えていない |
|--------------------|-------------------|--------------------|---------|------------------------|

すべての方

問17 あなたは、お子さんをおもちであること(またはもつこと)に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる | 10 仕事が十分にできなくなる |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 3 仕事に張り合いが生まれる | 12 社会から取り残されたような気になる |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 13 子どもにどのように接すればよいかわからない |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 14 子どもの非行が心配 |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる | 15 子どもの教育・進学が心配 |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい | 16 子どもの就職・仕事心配 |
| 8 子育て・教育で出費がかさむ | 17 その他 () |
| 9 自分の自由な時間がもてなくなる | 18 感じていることは特にない |

問18 子どもが（すでにいらっしゃる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。 （すでにいらっしゃるお子さんも含めてください。） 人
2 欲しい	
3 どちらとも言えない	
4 あまり欲しくない	
5 絶対欲しくない	

問19 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

中学生以下のお子さん*がいらっしゃる方のみお答えください
 ※15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるお子さんをいいます

問20 あなた、または、あなたの配偶者は子ども手当を受給していますか。

1 受給している	2 受給していない
----------	-----------

補問20-1 子ども手当を受給して、あなたはどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に役にたつ	4 あまり役にたたない
2 役にたつ	5 役にたたない
3 どちらともいえない	

配偶者と同居している方



終了です。

配偶者がいない方・配偶者と別居している方



引き続き該当する項目に記入をお願いいたします。

問21 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

問22 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、（1）、（2）のみお答えください。）

（1）あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
（2）あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
（3）配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
（4）配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問23 この1年間（平成21年11月～平成22年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在は含みません。

1 した	2 していない
---------	------------

補問23-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは 含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

問24 お子さんはいますか。

1 いる	2 いない ▶ 次頁の問25へお進みください
---------	------------------------------

補問24-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	（同居している小学生の ・ お子さんについて） 現在の放課後児童（学童）クラブ の利用の有無
1	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
2	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
3	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
4	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
5	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
6	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問24-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 認可保育所（園） | 5 ファミリー・サポート・センター |
| 2 事業所内託児施設 | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 8 利用していない |

補問24-3 小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

配偶者がいない方・配偶者と別居している方は、引き続き最後までお答えください

問25 現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスがありますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 認可保育所（園） |
| 2 事業所内託児施設（注） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）、ファミリー・サポート・センター |
| 5 幼稚園（預かり保育を含む） |
| 6 保育サービスはない |
| 7 わからない |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問26 あなたの平成21年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

平成21年1年間の所得	
あなたの所得	1 あり 金額 万円 万円 万円 万円
	2 なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年2回）
その他の所得（不動産所得、児童手当等）
年間10万円
の場合
 $20万 \times 12か月 + 40万 \times 2回 + 10万 = 330万円$ となります。

注：1）1万円未満は四捨五入してください。

2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3）その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まます。

問27 あなたが平成22年10月の1か月間に支出した額を記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成22年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万円 千円
(2) うち、お子さんの保育料 万円 千円	1 あり 金額 万円 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 万円 千円	1 あり 金額 万円 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1）支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2）千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室成年者調査係 電話：(03)5253-1111(内線7592) (03)3595-2322(ダイヤルイン) (平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15) Eメール a-cohort@mhlw.go.jp
--

国民の生活に関する継続調査

〔配偶者票（女性用）〕

（平成22年11月3日調査）



ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

（お願い）

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○
で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用
しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号									
地区番号				単位区番号		世帯番号			
出生年月									
1	昭和			年			月生		
2	平成			年					

問1 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 ～ 平成 年 月

- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

- 1 仕事についている -----
 - 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である -----
 - 3 仕事についていない
- 次頁の
補問2-1～2-2へ
お進みください
- 1 家事に従事している
 - 2 通学している
 - 3 その他

3頁の問5以降の該当する項目に
記入をお願いいたします

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主	6 パート
2 自家営業の手伝い	7 労働者派遣事業所の派遣社員
3 自宅での賃仕事（内職）	8 契約社員・嘱託
4 正規の職員・従業員	9 その他
5 アルバイト	

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分		

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3 あなたは今後出産する場合に、出産した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「4 今後の出産は考えていない」に○をつけてください。）

1 出産した後も続ける	2 出産を機にやめる	3 続けるかどうか考えていない	4 今後の出産は考えていない
-------------	------------	-----------------	----------------

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問4 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働（残業）の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがある方

問5 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の制度を利用しましたか。
それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成21年11月～平成22年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成21年11月～平成22年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成21年7月から平成22年6月までの場合、平成21年7月～平成22年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、前頁の問4の(3)と同様です。

すべての方

問6 現在、妊娠していますか。

1 している 2 していない・わからない

配偶者と同居している方

問7 あなたの配偶者はふだん家事、育児・子どもの世話を行っていますか。

1 している 2 していない

補問7-1 家事、育児・子どもの世話をしてくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に助かる 2 少しは助かる 3 あまり軽減とならない 4 軽減とならない

すべての方

問8 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として責任をもつ家庭	妻が主として責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭	わからない
(1) 世帯の収入	1	2	3	4
(2) 家事	1	2	3	4
(3) 育児	1	2	3	4

問9 あなたは、お子さんをおもちであること（またはもつこと）に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる | 10 仕事が多すぎて疲れる |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 3 仕事に張り合いが生まれる | 12 社会から取り残されたような気になる |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 13 子どもにどのように接すればよいかわからない |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 14 子どもの非行が心配 |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる | 15 子どもの教育・進学が心配 |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい | 16 子どもの就職・仕事が心配 |
| 8 子育て・教育で出費がかさむ | 17 その他（ ） |
| 9 自分の自由な時間がもてなくなる | 18 感じていることは特にない |

問10 子どもが（すでにいらっしゃる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 絶対欲しい
2 欲しい
3 どちらとも言えない
4 あまり欲しくない
5 絶対欲しくない
- 全部で何人欲しいですか。
(すでにいらっしゃるお子さんも含めてください。)
- 人

問11 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

問12 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

問13 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問14 この1年間（平成21年11月～平成22年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

1 した	2 していない
------	---------

補問14-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンとは 含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

問15 お子さんはいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

→ 次頁の問17へお進みください

補問15-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	（同居している小学生の お子さんについて） 現在の放課後児童（学童）クラブ の利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問15-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 認可保育所（園） | 5 ファミリー・サポート・センター |
| 2 事業所内託児施設 | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | 8 利用していない |

補問15-3 現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

中学生以下のお子さん*がいらっしゃる方のみお答えください
※15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるお子さんをいいます

問16 あなた、または、あなたの配偶者は子ども手当を受給していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受給している | 2 受給していない |
|----------|-----------|

補問16-1 子ども手当を受給して、あなたはどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に役にたつ | 4 あまり役にたたない |
| 2 役にたつ | 5 役にたたない |
| 3 どちらともいえない | |

すべての方（最後まで）

問17 現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスがありますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 認可保育所（園） |
| 2 事業所内託児施設（注） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）、ファミリー・サポート・センター |
| 5 幼稚園（預かり保育を含む） |
| 6 保育サービスはない |
| 7 わからない |

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問18 あなた及び同居している配偶者の、平成21年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1) あなたの所得」のみお答えください。

平成21年1年間の所得	
(1) あなたの所得	1 あり 金額 万円 2 なし
(2) 配偶者の所得	1 あり 金額 万円 2 なし
児童手当の受給 1 あり 2 なし	
例：月収20万円 ボーナス40万円（年2回） その他の所得（不動産所得、児童手当等） 年間10万円 の場合 $20万 \times 12 \text{ か月} + 40万 \times 2 \text{ 回} + 10万 = 330万円$ となります。	

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3) その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まます。

問19 あなた及び同居している配偶者が、平成22年10月の1か月間に支出した額を記入してください。

配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成22年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室成年者調査係
電話：(03)5253-1111(内線7592)
(03)3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

国民の生活に関する継続調査

〔配偶者票（男性用）〕

（平成22年11月3日調査）

ひと、くらし、
みらいのために
厚生労働省

（お願い）

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○
で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用
しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号									
地区番号				単位区番号		世帯番号			
出生年月									
1	昭和			年			月生		
2	平成			年					

問1 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 ～ 平成 年 月

- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

- 1 仕事についている
 - 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
 - 3 仕事についていない
- 補問2-1～2-2へお進みください
- 1 家事に従事している
 - 2 通学している
 - 3 その他
- 次頁の問4以降の該当する項目に記入をお願いいたします

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 6 パート |
| 2 自家営業の手伝い | 7 労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 3 自宅での賃仕事（内職） | 8 契約社員・嘱託 |
| 4 正規の職員・従業員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト | |

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分		

注：1) 就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

(記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。)

2) 通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働(残業)の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、 かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方

問4 あなたはこの1年間（平成21年11月～平成22年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成21年11月～平成22年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成21年11月～平成22年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成21年7月から平成22年6月までの場合、平成21年7月～平成22年6月となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

2) (3)の内容は、この頁の問3の(3)と同様です。

すべての方

問5 下記(1)～(3)の事項について、夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	夫が主として 責任をもつ家庭	妻が主として 責任をもつ家庭	夫妻いずれも同様に 責任をもつ家庭	わからない
(1)世帯の収入	1	2	3	4
(2)家事	1	2	3	4
(3)育児	1	2	3	4

配偶者がいる方で、現在、配偶者が仕事についている方
(休業中、アルバイト・パート等も含む)

問6 あなたの配偶者が、今後出産する場合に、出産した後も配偶者が現在の仕事を続けることを希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(今後の出産を考えていない方は、「5 今後の配偶者の出産は考えていない」に○をつけてください。)

- 1 出産した後も
続けてほしい 2 出産を機に
やめてほしい 3 配偶者の意向を
尊重したい 4 わからない 5 今後の配偶者の出産は
考えていない

すべての方

問7 あなたは、お子さんをおもちであること(またはもつこと)に関して、次のようなことを感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 家族の結びつきが深まる | 10 仕事が十分にできなくなる |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 11 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 3 仕事に張り合いが生まれる | 12 社会から取り残されたような気になる |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増える | 13 子どもにどのように接すればよいかわからない |
| 5 子育てを通じて人間的に成長できる | 14 子どもの非行が心配 |
| 6 老後の生活の面倒をみてもらえる | 15 子どもの教育・進学が心配 |
| 7 子育てによる心身の疲れが大きい | 16 子どもの就職・仕事が心配 |
| 8 子育て・教育で出費がかさむ | 17 その他 () |
| 9 自分の自由な時間がもてなくなる | 18 感じていることは特にない |

問8 子どもが(すでにいらっしゃる場合は、もう1人)欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 絶対欲しい 2 欲しい 3 どちらとも言えない 4 あまり欲しくない 5 絶対欲しくない
- 全部で何人欲しいですか。
(すでにいらっしゃるお子さんも含めてください。)
- 人

問9 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	----------------------	----	----------------------	---	----	----------------------	----	----------------------	---

中学生以下のお子さん※がいらっしゃる方のみお答えください
 ※15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるお子さんをいいます

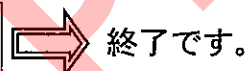
問10 あなた、または、あなたの配偶者は子ども手当を受給していますか。

1 受給している	2 受給していない
----------	-----------

補問10-1 子ども手当を受給して、あなたはどのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に役にたつ	4 あまり役にたたない
2 役にたつ	5 役にたたない
3 どちらともいえない	

配偶者と同居している方



終了です。

配偶者と別居している方



引き続き該当する項目に記入をお願いいたします。

問11 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
----------------------	--------------

問12 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問13 同居しているお子さんはいますか。

1 いる	2 いない	→ 次頁の問14へお進みください
------	-------	------------------

補問13-1 同居しているお子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	(同居している小学生のお子さんについて) 現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問13-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 認可保育所（園）	5 ファミリー・サポート・センター
2 事業所内託児施設	6 幼稚園が行っている預かり保育
3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	7 幼稚園（預かり保育を除く）
4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）	8 利用していない

補問13-3 現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 あなた	6 配偶者の母
2 配偶者	7 その他の家族・親族
3 あなたの父	8 その他（友人・知人等）
4 あなたの母	9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます）
5 配偶者の父	

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配偶者と別居している方（最後まで）

問14 現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスがありますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

- 1 認可保育所（園）
- 2 事業所内託児施設（注）
- 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
- 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）、ファミリー・サポート・センター
- 5 幼稚園（預かり保育を含む）
- 6 保育サービスはない
- 7 わからない

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問15 あなたの平成21年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

平成21年1年間の所得	
あなたの所得	1 あり 金額 万円 児童手当の受給 1 あり 2 なし
	2 なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年2回）
その他の所得（不動産所得、児童手当等）年間10万円
の場合
 $20万 \times 12か月 + 40万 \times 2回 + 10万 = 330万円$ となります。

注：1）1万円未満は四捨五入してください。

2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3）その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

問16 あなたが平成22年10月の1か月間に支出した額を記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成22年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1）支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2）千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

結果送付不要

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室成年者調査係
電話：(03) 5253-1111(内線7592)
(03) 3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp